

今年度の検討委員会にて検討する論点

令和6年10月

第3回検討委員会では、これまで確認してきた将来推計や住民アンケート結果等を踏まえて整理した課題について、皆様のお考えをお聞かせいただけますと幸いです

これまで検討委員会で整理されてきた課題と今後検討を行っていく論点

1. 現状と見通し

- ・ 児童数の減少が著しく、令和13年度には三神小学校で複式学級が発生する可能性がある
- ・ 保護者、地域住民のいずれも、**7割以上の方が小学校の再配置（統合等）に肯定的な考え**を持つ状況（アンケート結果）
- ・ **老朽化の進む学校施設**については、第7次矢吹町行財政改革大綱を踏まえた計画の検討が必要
- ・ 中学校が町の中央エリアに1施設設置されているが、**小学校は4学区に1校ずつ存在**

2. 目指す姿

- ・ 長期的な視点で**子どもたちにとって**より良い学校教育の環境を整備する
- ・ 矢吹町教育大綱の理念「緑豊かな大地に主体的に生きる心豊かな人間の育成」に基づき、子どもたち一人一人に「**確かな学力**」「**豊かな心**」「**健やかな体**」を育むことを目指す
- ・ また、保護者、地域住民、小・中学生のいずれも、小学校では「**学力・体力の向上**」「**安心・安全な環境**」「**友だちづくり**」を重視すべきと考えている（アンケート結果）

現状と見通しを踏まえ、目指す姿の実現のために何が必要か（＝課題）を整理する

3. 課題

- ・ 現状と見通しを踏まえ、今後、町として**どのような小学校の学校環境を整備すべきか**明確にする必要がある
- ・ 特に「学力・体力の向上」「豊かな心を育む」「友だちづくり」のためには、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい（※）と考えられるなかで、**町として望ましい学校規模・学級規模**を明らかにする必要がある
※文科省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」
- ・ 望ましい学校規模・学級規模を長期にわたり実現するため、**再配置を実施するか／実施しないか**の方針を定める。

第3回検討委員会にて委員の皆様にご意見をいただきたい事項

<課題を受けて今後委員会で検討していくこと>

以下は、視察研修の際、委員の皆様から今後の検討委員会で考えていく内容として意見をいただいたものとなります

- ① どの段階で統合するのか（統合となった場合の場所も含む）
- ② 統合に向け地域や保護者からの理解をどう得ていくか
- ③ 統合の場合、地域への影響は何が考えられるか
- ④ 保護者が送迎を行う場合の課題
- ⑤ スクールバスの運用（バス停、ルート、運行会社など）
- ⑥ 跡地利用

課題から
検討委員
会で検討
する論点
を整理